

世界史

(問題)

2015年度

〈2015 H27093419〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☒ 悪い	☐ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I

次の1・2の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。解答はすべて、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

1 暦は古くから^①天文学や数学と関係をもちながら、地域や時代によって独自の変化を遂げてきた。代表的なものとして、^②朔望月を基準とする太陰暦と太陽年を基準とする太陽暦、および両者を組み合わせた太陰太陽暦（太陽太陰暦）がある。地中海世界の場合、例えばローマでは **A** が、それまで乱れていた暦法に代えて太陽暦を導入した。この暦はその後キリスト教世界に継承され、特に16世紀には教会権力の思惑とも絡みながら改良が加えられ、現在私たちが使用する暦に至る。暦と同様に時間を区切るものとして、東アジアでは年号が使われた。年号は漢の武帝の時代から用いられるようになったが、君主が時間の支配者でもあることを象徴した。^③このように暦や年号は、単なる時間の区分法ではなく、時代の権力と深い関わりがあった。

2 地図が人類の世界観構築に果たした役割は際限なく大きい。それは未知の世界に関する情報をもたらしただけでなく、人々を未知の世界へと駆り立てもした。そうした地図がいつ、どのような形で出現したか定かではないが、前7世紀初頭にはすでにバビロニアで粘土板による世界図が^④つくられていたという。やがてエラトステネスらの世界図が登場し、イスラーム世界でも、カラ=ハン朝下で通称『テュルク語辞典』を編纂した **B** や、12世紀のアラブ人地理学者 **C** ^⑤らが、メッカを中心とする世界図を作成するようになる。そして16世紀になると、しばしば宗教的な世界観に基づいてつくられたそれまでの地図の制約を脱却して、たとえばメルカトルが独自の投影法による「航海者に最適の世界地図」を作成し、改良された羅針盤や快速帆船ともども大航海時代を後押しする。一方、中国には唐代に^⑥賈耽の『海内華夷図』があったが、17世紀初頭、イタリア出身のマテオ=リッチが漢字表記の世界地図『坤輿万国全図』をつくって、中国人の世界観に多大な影響を与える。もとよりこれらの地図は正確さという点でいずれも問題はあつたものの、未知の世界を既知の世界へと転換していく強力な歴史的要因となった。

設問X 文中の **A** ～ **C** に入るもっとも適切な語をa～dの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|------------------|--------------|----------|------------|
| A | a ユリアヌス | b トラヤヌス | c カエサル | d アウグストゥス |
| B | a カシュガリー | b ガザーリー | | |
| | c ウマル（オマル）＝ハイヤーム | d イブン＝ハルドゥーン | | |
| C | a イブン＝バットゥータ | b フワーリズミー | c イドリーシー | d イブン＝シーナー |

設問Y 文中の下線部①～⑥について、もっとも適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 天文学や数学の歴史に関して、誤っているものはどれか。
- ブトレマイオスは『天文学大全』を著わし、天動説を唱えた。
 - イスラーム世界はインドからゼロの概念および十進法を取り入れ、数学・天文学・医学などを目覚ましく発展させた。
 - インカ文明では数はキープを用いて記録され、マヤ文明では二進法が用いられていた。
 - ティムール朝のウルグ=ベクはサマルカンドに天文台を建設した。ここでの天体観測の成果は、天文学や暦法の発展にもつながった。
- ② これらの説明として、誤っているものはどれか。
- 太陰暦であるイスラーム暦は、ヒジュラが行われた西暦622年を紀元元年とし、ヒジュラ暦とも呼ばれる。
 - 日本では江戸時代に渋川春海が貞享暦を作成したが、これは元の郭守敬らによって作られた太陰太陽暦（太陽太陰暦）である授時暦を基にしている。
 - 古代エジプト人は、日の出とナイル川の増水の始まりとの関係から1年を365日とする太陽暦を使用していた。
 - 太陰太陽暦（太陽太陰暦）はメソポタミアに起源をもち、季節とのずれを調整するため閏月を挿入した暦である。

- ③ 暦や年号と時代の権力との関係についての記述として、誤っているものはどれか。
- a フランスの革命暦は、旧体制との決別を示すために、1793年に国民公会で採用された暦である。
 - b 清の冊封を受けた朝鮮王朝や日本などは、独自性を保つため、固有の年号を使用していた。
 - c ロシアでは、1917年の革命によってロシア暦が廃止され、グレゴリウス暦が導入された。その結果、ロシア暦の二月革命は三月革命、同じく十月革命は十一月革命と呼ばれるようになった。
 - d 1923年に成立したトルコ共和国は、近代化の一環として政教分離を行い、イスラーム暦に代えて太陽暦を採用した。
- ④ エラトステネスの説明として正しいものはどれか。
- a 前4世紀にギリシアのサモス島に生まれ、地球の公転と自転の法則を発見し、太陽中心説を唱えた。
 - b 前3世紀に北アフリカのギリシア植民地で生まれた天文学者で、地球を球形とみなし、その周囲の長さを計測した。
 - c 前3世紀のシチリア（シシリー）島に生まれた天文学者・数学者・物理学者で、流体静力学の分野でも先駆的な業績をあげた。
 - d 前1世紀から後1世紀のギリシア人地理学者で、ヨーロッパから北アフリカ、西アジア、さらにインドにまでいたる広大な地域を旅し、その成果を地図にまとめた。
- ⑤ カラ＝ハン朝の説明として正しいものはどれか。
- a ホラズム朝の後を継いで小アジアに覇を唱えたイスラーム王朝である。
 - b 同時期にアフガニスタンで興ったガズナ朝と、インドの覇権を巡って争った。
 - c 東・西トルキスタンを支配して、この地域のイスラーム化を促進した。
 - d 12世紀中葉に東西に分裂し、セルジューク朝とサーマーン朝に隷属した。
- ⑥ マテオ＝リッチの説明として正しいものはどれか。
- a ドミニコ会に属する彼は、ドイツ出身のアダム＝シャールとともに同修道会最初の中国伝道者となった。
 - b イエズス会宣教師のブーヴェと協力して、西欧諸科学の中国への招来に尽力した。
 - c 自らが指導した徐光啓との共同作業で、エウクレイデスの幾何学を漢訳した『幾何原本』を刊行した。
 - d 建築学にも精通していた彼は、北京郊外の円明園を設計した。

II

次の1・2の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

- 1 春秋時代後期から戦国時代にかけて、諸子百家とよばれるさまざまな思想家集団が生まれた。儒教は、前漢の武帝のころから国政の基本思想とされ、つづく後漢でも政治の基本理念として重視された。この両王朝のもとでは儒教経典や歴史書など、さまざまな分野の古典研究が行われた。宗室の一人である（ 1 ）がおこなった書籍の校正や編纂もその一つとして知られている。

後漢の後期は幼弱な皇帝がつづいたため、朝廷で権力闘争がくりかえされた。このような政治的混乱はやがて地方におよび、後漢の中央集権体制は衰退するのであるが、それを動かぬものとしたのは、太平道の首領（ 2 ）がおこした黄巾の乱である。この反乱ののち、各地に割拠した群雄によって皇帝の権威を脅かされた（ 3 ）は、後漢王朝の実権を掌握して禅譲を強要する人物に帝位を譲りわたり、後漢は滅亡を迎えるのである。

- 2 前漢末から新を経て後漢が成立するころに伝来した仏教は、魏晉および南北朝時代に皇帝や貴族の保護を受けて発展し、つづく隋唐両王朝でも多くの高僧が活躍した。唐の太宗時代に中央アジアをへてインドに入り、名君といわれるヴァルダナ朝のハルシャ王に保護され、その首都である（ 4 ）やナーランダ僧院で研鑽をつんで多くの仏典を持ち帰った玄奘や、そののち分裂した時代のインドを訪れた義浄らはとくに有名である。

中国仏教諸宗派は、北魏時代に開かれた禅宗のほか、隋代の（ 5 ）によって開かれた天台宗および玄奘を祖とする法相宗などが大成された。しかし、このように隆盛を極めた仏教も、9世紀なかば、皇帝の勅令によって仏教教団を弾圧した「会昌の廃仏」によって衰退するのである。

設問X 空欄（ 1 ）～（ 5 ）に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|---------------|---------|--------|---------|----------|
| (1) a 鄭玄 | b 司馬遷 | c 劉向 | d 董仲舒 | e 班固 |
| (2) a 張衡 | b 張陵 | c 張騫 | d 張角 | e 張儀 |
| (3) a 明帝 | b 煬帝 | c 景帝 | d 文帝 | e 献帝 |
| (4) a パータリプトラ | b サーンチー | c カナウジ | d クシナガラ | e プルシャプラ |
| (5) a 達磨 | b 慧遠 | c 道安 | d 法顕 | e 智顗 |

設問Y 下線部①～⑤に関する設問について、最も適切な解答を（ア）～（オ）のなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① その説明として正しいものはどれか。

- （ア）文班と武班に分かれた官僚が各党派の利益を目指して対立し、中央の政治が乱れた。
 （イ）その一つに宦官勢力が儒教派官僚を弾圧し、中央政界から追放した党錮の禁がある。
 （ウ）朝廷では宦官の勢力が強大化して、東林派官僚との対立が激化し、国政が混乱した。
 （エ）「上品に寒門なく、下品に勢族なし」は、その権力闘争を象徴する言葉である。
 （オ）中央政府が推進する漢化政策に反対して、北方に配属された武人官僚が反乱を起こした。

- ② その人物の説明として正しいものはどれか。

- （ア）その人物は、洛陽に遣使した邪馬台国の卑弥呼に親魏倭王の称号と金印などを下賜した。
 （イ）その人物は、周を建国したのち旧来の貴族層を制圧するため、科挙出身の官僚を登用した。
 （ウ）その人物は、中央政界の実権を掌握して全国統一をめざしたが、赤壁の戦いで大敗した。
 （エ）その人物は、建武中元二年、洛陽の朝廷に朝貢した倭の奴国の使節に印綬を下賜した。
 （オ）その人物は、従来の官吏登用制度に替わるものとして九品中正制度（九品官人法）を採用した。

③ その時代における文物の説明として誤りを含むものはどれか。

(ア) 范曄^{はんよふ}が『後漢書』を撰述した。

(イ) 昭明太子が『文選』を編纂した。

(ウ) 陶淵明が『桃花源記』を記した。

(エ) 張華が『女史箴図』を描いた。

(オ) 王羲之が『蘭亭序』を書いた。

④ 義浄がインドからの帰途に滞在し、『南海寄帰内法伝』を著した王国の説明として正しいものはどれか。

(ア) その王国は、華僑のネットワークを利用してアユタヤ、朝鮮、日本などと中継貿易をおこない、繁栄した。

(イ) その王国は、東西海上交通の主要路を支配し、多くの港市国家を従える交易国家として繁栄をほこった。

(ウ) その王国は、チャオプラヤー（メナム）川の中・下流域を中心に栄え、唐に朝貢したことが知られている。

(エ) その王国は、キャラバンサライをむすぶ東西交易路を支配し、奴隸や香辛料の交易によって繁栄した。

(オ) その王国は、海上交易の中軸として発展し、15世紀半ばにイスラーム王国となって周辺諸国に影響をあたえた。

⑤ これを含む中国史上の仏教弾圧を「三武一宗の法難」という。唐以外の王朝で、廃仏を断行した皇帝の説明を選べ。

(ア) 北魏の太武帝は、寇謙之を登用して道教教団を擁護した。

(イ) 宋の太宗は、北漢を滅ぼして中国の再統一を完成した。

(ウ) 遼の聖宗は、宋を圧倒して遼淵の盟をむすんだ。

(エ) 宋の武帝は、江南の豪族をおさえて土断法を実施した。

(オ) 東晋の元帝は、江南地方を支配して建康に都を置いた。

Ⅲ 次の文章を読み、下の設問X・Yに答えなさい。

19世紀のヨーロッパでは、政治的にはナショナリズムが台頭し、それぞれ独自の国家単位による近代国家形成がすすめられた。これは、18世紀のアメリカの独立戦争やフランス革命などの影響を受けて、ヨーロッパで国家的な統一や自由主義を求める動きが活発になり、また産業革命の進展によって各国間の経済競争が激化したためでもあった。ヨーロッパは一般的には国家の分裂・分化の様相を呈したが、しかし、一方でヨーロッパ全体を統合するような思想や理念もあらわれた。その一つが、「インド＝ヨーロッパ語族」という言語学の考え方であった。この考え方は、18世紀後半のインドにイギリス東インド会社から派遣された、裁判官で言語学者のウィリアム＝ジョーンズによって提唱されたもので、ラテン語、ギリシア語、英語などヨーロッパ系の言語とインドの **A** 語の類似性を指摘することにより、ケルト語やゲルマン語系などのヨーロッパから、^④ ペルシア を経てインドに及ぶ地域における「共通の祖語」の存在を主張するものであった。ジョーンズの研究は、当時のヨーロッパ社会に大きな反響をよび、これを受けて19世紀には比較言語・語源研究、文法学が進展し、言語を中心にしたヨーロッパの歴史的統一性の意識を強化することになった。

この説は、ヨーロッパの主たる民族の言語を「インド＝ヨーロッパ語族」という概念で解釈するあくまで言語学上の理論であったが、19世紀になると、**B** 年に発表されたダーウィンの進化論や、生物学、優生学などの影響もあって、人種や民族の優劣に関する議論へと展開した。その結果、インド＝ヨーロッパ語を使用する人を「アーリヤ人」(高貴なる人)と呼び、ヨーロッパ人の中でもアーリヤ人を最良とする「アーリヤ主義」を生み出し、19世紀後半のドイツなどでは、ゲルマン系のドイツ人が純粋なアーリヤ人の血統をひく民族であると主張する、排他的・国粹的な民族主義を生み出すことになった。また他方で、インド＝ヨーロッパ語族に属さないと考えられる民族に対する排除や迫害の運動が起こり、この代表的な民族であるユダヤ人に対する排斥運動が激しくなった。20世紀にヒトラーのナチスが展開したユダヤ人迫害である **C** は、^⑥ このような以前から存在した偏狭な民族主義、人種主義に基づくものであり、ナチスは、ドイツだけではなくヨーロッパ全体の強制的・政治的な統合を目指した。

設問X 文中の空欄 **A** ～ **C** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|---|---------|-----------|---------|----------|
| A | a アッカド | b サンスクリット | c セム | d タガログ |
| B | a 1828 | b 1848 | c 1858 | d 1878 |
| C | a シオニズム | b レジスタンス | c パルチザン | d ホロコースト |

設問Y 文中の下線部①～⑥に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① 18世紀のアメリカの独立戦争やフランス革命時代の思想家・政治家に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a トマス＝ペインは1776年に『コモン＝センス』を著してアメリカ独立への世論の気運を高め、のちフランスに渡って、国民公会の議員となった。
- b フランクリンは、印刷業・出版業で成功し、科学者としても知られた人物であったが、政治家としては独立宣言起草委員を務め、駐仏大使として革命前のフランスに滞在し、アメリカ独立への支援を求めた。
- c ラ＝ファイエットは、アメリカ独立戦争に義勇兵として従軍し、フランス革命では人権宣言の起草者となって活躍したが、王政主義者であったために、処刑された。
- d ラヴォワジエは、化学者として知られ、フランス革命期には政治家としても活躍したが、徴税請負人であったことをジャコバン政権で問われ、処刑された。

- ② ウィリアム＝ジョーンズに関連して、彼が派遣されたインドの都市は、イギリスのインド植民地経営の拠点であり、19世紀末期からは、ケープタウンやカイロとつなぐ植民地政策を展開した都市となった。この都市とはどこか。
- a マドラス b ゴア c ボンベイ（ムンバイ） d カルカッタ（コルカタ）
- ③ ケルト語やゲルマン語系に関連して、ケルト人とゲルマン人（民族）について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ケルト人はヨーロッパにおけるインド＝ヨーロッパ語系の先住民であり、今日でもイギリスやフランスなどにこの伝統や風習を継承する地域がある。
- b カエサル『ガリア戦記』は、ケルト人の住んでいたガリアという地域への遠征記録であり、この中にケルト人の風習が詳しく伝えられている。
- c 東ゲルマン民族の代表的な部族であった東ゴート人は、4世紀後半にフン人に征服されたが、フン人の勢力の崩壊後、5世紀末にアラル海のもとでイタリア半島に東ゴート王国を建設した。
- d 西ゲルマン民族のフランク人は、5世紀後半にメロヴィング朝のクロヴィスのもとで統一され、クロヴィスは家臣とともに、アタナシウス派のキリスト教に改宗した。
- ④ ペルシアに関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a アケメネス朝第3代のダレイオス（ダリウス）1世は、ギリシアの諸ポリスとペルシア戦争を起こした。
- b ダレイオス3世は、アルベラの戦いでアレクサンドロス大王に敗れた後に、家臣によって暗殺され、これによってアケメネス朝は滅亡した。
- c 3世紀に興ったササン朝の第2代の王シャープール1世は、ローマと戦い、軍人皇帝ヴァレリアヌスを捕虜にした。
- d ササン朝で国教とされたゾロアスター教は、善悪二元論に基づく宗教で、中国にも伝えられて、景教とも呼ばれた。
- ⑤ 19世紀後半のドイツに関連して、この時代におきた事件や事象などが、古いものから年代順に正しく並んでいるものはどれか。
- a 社会主義者鎮圧法の制定 → 保護関税法（鉄と穀物の同盟）の制定 → ロシアとの再保障条約の締結 → ビスマルクの退陣
- b 保護関税法（鉄と穀物の同盟）の制定 → 社会主義者鎮圧法の制定 → ビスマルクの退陣 → ロシアとの再保障条約の締結
- c ロシアとの再保障条約の締結 → 保護関税法（鉄と穀物の同盟）の制定 → 社会主義者鎮圧法の制定 → ビスマルクの退陣
- d 社会主義者鎮圧法の制定 → ビスマルクの退陣 → ロシアとの再保障条約の締結 → 保護関税法（鉄と穀物の同盟）の制定
- ⑥ ユダヤ人（ヘブライ人）に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ヤハウェを唯一神とするユダヤ教を信奉するユダヤ人は、ヨーロッパのキリスト教徒から差別や迫害を受け、ゲットーと呼ばれる、ユダヤ人を隔離居住させる地区もつくられた。
- b ユダヤ人が奉ずるユダヤ教の経典は『旧約聖書』『新約聖書』であり、これはイスラーム教の経典『コーラン』（『クルアーン』）に影響を与え、ヨーロッパの政治・歴史・文化活動の源泉になった。
- c ドイツ生まれのユダヤ系物理学者であるアインシュタインは、ナチスによるユダヤ人迫害をさけてアメリカに亡命した。
- d 通称「ジプシー」と呼ばれるロマの人々は、放浪の民というイメージをもたれ、ユダヤ人とともにナチスの迫害の対象となった。

IV 以下の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

台湾は中国福建省の東方約200kmに位置する島で、面積は約3万6000km²、ほぼ日本の九州に相当する。この島には16世紀以前、主にマレー＝ポリネシア語族に属する言語を話す人々が先住し、歴代の中国王朝はこれを「流求」などと呼んでいたが、実効支配することはなかった。17世紀前半、(ア)を拠点にアジア交易を展開していたオランダ東インド会社は、日本や中国との貿易をもくろみ、そのための中継基地として台湾に注目し、1624年、現在の台南付近に(イ)を築いた。オランダは中国からの漢人の移住を奨励したため、福建省や広東省からの台湾への移住者が増加した。

これよりさき、1567年、明が建国当初から実施していた海禁政策を緩和すると、東アジアから東南アジアの各地に中国商人が進出するようになった。^②そうしたなかで頭角を現したのが(ウ)である。彼は福建省を拠点にオランダ東インド会社や日本との貿易で巨富をきずき、台湾海峡から東シナ海一帯の海上権を掌握した。1644年、清が明に代わって(エ)に遷都して中国支配を始めると、(ウ)^③はこれに帰順したが、その子の鄭成功は明の亡命政権である南明を支持して清への抵抗を続けた。鄭成功は1661年、台湾のオランダ勢力を破って台南に根拠地を置き、ここに鄭氏による台湾支配が始まった。1662年の鄭成功の死後はその子の鄭經が台湾支配を引き継ぎ、しばしば大陸に攻撃をかけ、三藩の乱に乗じるなどして大陸反攻を図った。これに対して清の康熙帝は、海禁を強め、沿岸部の住民を海岸から離れた地^④に強制移住させる(オ)を用いて鄭氏政権を追い詰め、1683年に滅ぼした。清は翌年「台湾府」を設置して直轄地としたが、ここに中国の中央政府による台湾実効支配が始まり、以後、福建省や広東省からの漢人の移住者はさらに増加していったのである。

設問X 文中の空欄(ア)～(オ)に入る適切な語を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------|-------|-------|----------|
| (ア) a バタヴィア | b マニラ | c ペナン | d アンボyna |
| (イ) a 漢城 | b 大興城 | c 平城 | d 安平城 |
| (ウ) a 鄭和 | b 鄭観応 | c 鄭芝竜 | d 鄭道昭 |
| (エ) a 開封 | b 瀋陽 | c 北京 | d 南京 |
| (オ) a 戸調式 | b 遷界令 | c 良賤制 | d 課田法 |

設問Y 文中の下線部①～⑤に関する下記の設問について、最も適切な解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① 福建省や広東省から台湾への移住者のなかには「客家」と呼ばれる人々もいた。それについての説明として誤りを含むものはどれか。
- 4～12世紀に華北から広東・広西・江西・福建等の山間部に移り住んだと伝えられる人々である。
 - 元時代には「漢人」とされ、支配民族としてモンゴル人と連携して、「南人」支配の一翼をになった。
 - 明・清時代には、差別・圧迫を受け、海外への出稼ぎや移住するものも多かった。
 - 19世紀なかごろに太平天国を建設した洪秀全は客家出身である。
- ② 明を建国した朱元璋(洪武帝)の政策の説明として誤りを含むものはどれか。
- 民衆の教化をめざし、「父母に孝順なれ、長上を尊敬せよ、郷里に和睦せよ、子孫を教訓せよ、各々生理に安んぜよ、非為をするなかれ」の6カ条からなる「六諭」を發布した。
 - 民戸110戸を1里とし、そのうち富戸10戸を里長戸、残りの100戸を10戸ずつ10甲に分け、里長戸の指導のもとで租税の徴収や村落の治安の責任を負わせる里甲制を制定した。
 - 土地台帳である賦役黄冊、租税台帳である魚鱗圖冊を作成して、財政基盤の確立をはかった。
 - 一般の民戸とは別に軍役に従事する軍戸をもって軍隊を編成する衛所制を設立した。

V 次の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。解答はすべて与えられた選択肢から最も適切なものを一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークすること。

1914年6月28日、**A**の中心都市サラエヴォで、オーストリア＝ハンガリー（帝国）の皇位継承者夫妻がセルビア系青年の手で暗殺された。^①この事件を受けて同年7月28日、オーストリア＝ハンガリーはセルビアに宣戦布告し、その後、各国が協商国側あるいは同盟国側としての同盟関係に従うなどして参戦したため、ヨーロッパは広く戦場となった。^②

ドイツは、フランスとの戦いを速やかに終結させるべく、ベルギーを通過してフランスに侵攻したが、1914年9月の**B**以降戦況は一進一退で、膠着状態となった。こうして、当初は数ヶ月で決着がつくと考えられた戦争は長期化し、各参戦国は戦争遂行のために総力戦体制を取らざるをえなくなった。^③

この戦争の結果、1917年にはロシア皇帝**C**が退位し、戦争末期の1918年秋にはオーストリア＝ハンガリーとドイツでも皇帝が退位するなど、中央ヨーロッパから東に広がっていた三つの帝国が崩壊した。^④

ヨーロッパ諸国間の戦いとして始まったこの戦争は、アジアなど広くヨーロッパ以外の人々をも巻き込み、また戦争の帰趨を決するにはアメリカ合衆国の参戦が必要となるなど、それまで世界を広く支配していたヨーロッパ列強の勢力凋落を印象づける結果となった。^{⑤⑥}

設問X 文中の空欄に入る、適切な語を選びなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------------|---|-----------|---|--------|---|--------|
| A | a | ボスニア | b | クロアチア | c | モラヴィア | d | スロヴァキア |
| B | a | タンネンベルクの戦い | b | イーブルの戦い | c | マルヌの戦い | d | ソンムの戦い |
| C | a | アレクサンドル1世 | b | アレクサンドル2世 | c | ニコライ1世 | d | ニコライ2世 |

設問Y 文中の下線部について、以下の問いに答えなさい。

- ① オーストリア＝ハンガリーという国家ならびにその国に含まれる地域についての記述として、誤っているものを選びなさい。
- a アジア系のマジャール人は9世紀にパンノニア平原を勢力圏としたが、10世紀半ばからキリスト教を受け入れるようになり、11世紀にはハンガリー王国として、中世キリスト教ヨーロッパの一部となった。
 - b 16世紀にハンガリー王国はオスマン帝国の侵攻によって衰え、17世紀末にはオーストリアの支配下に入った。
 - c 1848年3月、ドイツ各地で三月革命が起こったが、ハンガリーでは民族運動の勢いが強まり、初めてハンガリー人の内閣が成立した。
 - d 1864年、プロイセン＝オーストリア戦争に敗れたオーストリアは、領内の非ドイツ系諸民族の独立運動を抑えるため、ハンガリーが独自の政府・議会を持つことを認めた。
- ② 各国がどのような同盟関係によってどのように参戦したかについての記述として、誤っているものを選びなさい。
- a イギリスはアジアにおけるロシアの南下政策を警戒して1902年、日本と同盟を結んだ。日本はこの同盟関係を根拠として1914年8月、ドイツに宣戦布告した。
 - b 1882年以来、ドイツ・オーストリアと三国同盟を結んでいたイタリアは、当初その三国同盟の一員として参戦したが、「未回収のイタリア」獲得を約束するロンドン秘密条約を得て、1915年、オーストリア＝ハンガリーに宣戦布告した。
 - c ロシアとフランスは19世紀末より同盟関係にあったが、イギリスは1904年、フランスと英仏協商を締結し、1907年にはロシアとも協商を成立させた。このような関係の中で、イギリス・フランス両国は1914年8月、オーストリア＝ハンガリーに宣戦布告した。
 - d セルビアは1878年、オスマン帝国から独立したが、ロシア主導のパン＝スラヴ主義の旗頭となっていた。このため、オーストリア＝ハンガリーがセルビアに宣戦布告すると、ロシアは軍総動員令を出し、これがドイツのロシアに対する宣戦布告につながった。

- ③ 各国が苦しんだ長期・物量戦とそれを支えるための総力戦体制の説明として、誤っているものを選びなさい。
- a 連合国側の経済封鎖によって、国内の物資流通に不安を抱えるようになったドイツは、食糧の配給制を開始した。
 - b 1917年、ドイツはイギリスによる海上封鎖に対抗するため、交戦水域に入った船舶は国籍を問わず無差別・無警告に、潜水艦によって撃沈する作戦を開始した。
 - c 農業生産が低下し、物資の国内輸送も機能しなくなったロシアでは、都市への食糧・燃料の供給が大幅に不足するようになり、政情不安が募った。
 - d 戦争の遂行を目的として政府を支持する挙国一致体制が各国で成立したが、イギリスでその体制を率いたのは保守党のネヴィル＝チェンバレンだった。
- ④ これによって成立したドイツ革命の経過説明として、誤っているものを選びなさい。
- a 戦争の続行を不可能と判断したドイツ軍参謀本部は、連合国軍側との休戦交渉を可能とするため、帝政の議会制立憲君主政への改組を求めた。
 - b 先の見通しのない出撃命令を拒み、即時停戦を求めてキール軍港で水兵が蜂起すると、またたく間に革命運動がドイツ全土に広がった。
 - c ドイツ皇帝であり、バイエルン国王であったヴィルヘルム2世は退位を宣言してオランダに亡命した。
 - d ドイツ共和国臨時政府は連合国軍側と休戦協定を結んだが、この政府は社会民主党党首エーベルトを首班としていた。
- ⑤ 第一次世界大戦がアジアなどに及ぼした影響についての記述として、誤っているものを選びなさい。
- a 日本は中国国内のドイツ租借地であった膠州湾と太平洋上のドイツ領南洋諸島を占領し、中国に二十一カ条の要求を認めさせるなど、海外進出の動きを先鋭化させた。
 - b オスマン帝国は第一次世界大戦で敗戦国となり、支配していた地域のかかなりの部分を失った。弱体化した帝国は1922年、ムスタファ＝ケマルによって倒された。
 - c イギリスが戦後の自治実現を約束したことを受けて、インドは多くの住民を兵士としてイギリス軍に提供した。しかし、1919年に出されたインド統治法は、インド人の自治を限定的にしか認めないものだった。
 - d 1916年のサイクス・ピコ協定によって、イギリスはアラブの指導者に対し、戦争協力を条件に、アラブ人居住区のアラブ人による独占と、国家としての独立を約束した。
- ⑥ このように、列強の一翼を担う勢力に成長したアメリカ合衆国についての記述として、誤っているものを選びなさい。
- a アメリカ合衆国は南北戦争という内戦を克服し、アラスカ買収後大きく経済を成長させ、19世紀末には工業生産力で世界の首位となった。
 - b 1898年、アメリカはアメリカ＝スペイン戦争に勝利して、スペイン領であったプエルトリコ・グアム・フィリピンなどを獲得するとともに、中米諸国や太平洋諸島への影響力を強めた。
 - c アメリカ合衆国は1903年、パナマからパナマ運河の工事権と租借権を得て、運河建設に着工し、運河が完成すると、その管理権を握った。
 - d 第一次世界大戦開戦後、アメリカ合衆国は当初参戦せず、連合国に物資を供給し、大量の戦債を購入して資金を提供した。戦後は疲弊したヨーロッパの経済復興援助のため、ドーズ案によって戦債返済の大幅な猶予を認めた。

[以下余白]

